

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		かかりつけ医機能推進				整理番号	459	枝番号			
担当部課名		杉並保健所 健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	417		
係名					健康推進係			上位施策名			
係名					健康推進係			No			
予算事業名		保健事業の推進		コード	41400	地域医療体制の整備		39			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				8 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区かかりつけ医機能推進事業実施要綱						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 医師会に委託して、区民一人ひとりにかかりつけ医を持つことの必要性を啓発し、区民からのかかりつけ医紹介等の相談に応じる。また、区からもかかりつけ医の必要性を啓発していく。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民が、日常的な健康管理を安心して行うことができ、身近な地域で適切な医療を受けられる。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 相談受付件数				(1) (代)相談受付件数							
(2)				(2) かかりつけ医をもつ人の割合(成人)							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)		件	32	30	80	97	100	100	97.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		件	32	30	80	97	100	100	97.0	
	成果指標(2)		%		58	60	57	60	60	95.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	808	2,044	2,402	1,429	2,402	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 成果指標のかかりつけ医をもつ人の割合はかかりつけ医の持ちにくい成人を対象とした。		
	(内)委託費		千円	808	808	808	808	808			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.06	0.20	0.23	0.10	0.12			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	540	1,799	2,069	899			1,079
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	1,348	3,843	4,471	2,328	3,481			
	単位あたりコスト ÷		円	42,125	128,100	55,888	24,000	34,810			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円		366	339	366			344
		特定財源計 +		千円	0	366	339	366			344
差引:一般財源 -		千円	1,348	3,477	4,132	1,962	3,137				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	121.3	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	59.5	かかりつけ医の啓発活動は行っているが、区民にはまだまだ浸透していない。今後も引き続き普及啓発活動を実施していく。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			健診のお知らせ等の空きスペースを有効活用し、「かかりつけ医をもちましよう」という言葉をいれ、啓発を行った。16年度も、引き続き区民健診受診票の送付に同封するお知らせを中心に「健診は、かかりつけ医を見つけるよい機会」だということをPRしている。周知用ポスター等を他の事業と共同で作製し、経費削減を行った。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度からは、介護保険制度も始まり、要介護認定の際に、かかりつけ医の意見書が必要とされるなど、かかりつけ医の必要性はますます高まっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者については、かかりつけ医を持つ区民の割合が比較的増加してきたが、成人・小児については、まだかかりつけ医を必要としている。
	今後の予測	生活習慣病の改善及び予防の観点から、かかりつけ医による日常の健康管理の必要性はますます高まっていく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：かかりつけ医の定着は、地域医療体制を整備していく上で重要である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由：
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容：区民からの医療機関問い合わせ等についてかかりつけ医の紹介を行なう。かかりつけ医師の技術等向上を図るため講習会等を開催する。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容：救急医療情報センターが開始され、医療機関等紹介業務を移行できた場合現在行なっている内容より幅広く区民に情報提供することができる。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：事業の性格上受益者負担はなじまない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容：救急情報センターの設置にあわせて事業の見直しを図る。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の委託の形態を見直し、かかりつけ医機能のシステム化を構築し、救急情報センター等民間の活力で効果的効率的推進を図る。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 かかりつけ医がその他の医療機関との連携を図るためには、医師会が中心となり、区や地域医療機関との連携を強化していく必要がある。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input checked="" type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 区民のかかりつけ医に対する基礎知識を啓発する。 平成17年1月開設予定の救急医療情報センターの設置に伴い、本事業の内容を精査し杉並区医師会との調整を行い事業の見直しを行う。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		休日等急病診療				整理番号	461		枝番号		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	476	
係名					健康推進係			上位施策名		No	
予算事業名					休日等急病診療		コード	45950		地域医療体制の整備	39
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		48年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区休日夜間等急病診療事業実施要綱				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)				
	休日等の急病により診療を必要とする区民				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
多くの医療機関が休診する時間帯における急病患者に対する休日等急病診療を固定及び医療機関の輪番当番制によって実施している。(1)平日・固定診療 1所 (2)土曜日・固定診療 1所・輪番診療 耳鼻咽喉科1ヵ所 (3)日曜日・固定診療 1所・輪番診療 8ヵ所				休日等にも区民が安心して身近な地域で症状に応じた医療が受けられるようにする。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 休日等診療者人数				(1) (代)一日固定診療所 診療者数							
(2) 開設延べ日数				(2) (代)一日在宅輪番診療所診療者数							
指標	区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
	活動指標(1)	人	8,789	12,069	12,672	11,884	11,480				
	活動指標(2)	日	816	982	983	983	984				
	成果指標(1)	人	16	11	12	12	11				
成果指標(2)	人	6	8	8	12	12					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	140,492	151,873	150,722	150,727	150,218	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	139,823	151,313	150,375	150,374	149,476	数値を捕らえるのが難しいため代替として、固定、輪番診療者の一日の受診者数とする。		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.41	0.45	0.47	0.46	0.44	診療見込者数 11,480人		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,688	4,047	4,227	4,137	3,957			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	144,180	155,920	154,949	154,864	154,175			
	単位あたりコスト ÷		円	16,405	12,919	12,228	13,031	13,430			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	4,128	7,803	7,803	7,803	7,803		
		特定財源計 +		千円	4,128	7,803	7,803	7,803	7,803		
差引:一般財源 -		千円	140,052	148,117	147,146	147,061	146,372				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	93.8	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	100.0			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			事業周知用のポスター等を他事業と共同で作成し、経費削減に努めた。医師会、薬剤師会との連絡会を開催し、事業運営を円滑に行うため区民の要望・苦情などについて協議した。 かかりつけ医・歯科医普及事業と共同でポスター及び案内カード(ポスター添付用100枚組)を作成し、保育園、小中学校、医療機関など診療対象者が集まる施設等を中心に掲示した。また、保育園、幼稚園、小学校の新入園・入学児を対象に案内カードを配付し、事業の周知を図った。固定診療所の看護師・事務員及びテレホンセンターの医師・事務員の配置の見直しを行い、平成16年度委託経費を約300万円削減することができた。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平日準夜の小児科診療について、平成12年度から事業の休止をしていたが、区民の強い要望により平成14年度から再開した。再開にあたり、医師会及び薬剤師会の代表からなる休日夜間等急病診療に関する運営連絡会を設置した。輪番の配置について見直しを行い平成14年4月から9ヶ所 8か所とした。1ヶ所削減に関してこれまで区民の利用状況には影響は見られな
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	要望 ・救急時の医療体制を充実してほしい。 ・テレホンセンターにおいて、詳しく症状を確認するなどの確な紹介をしてほしい。
	今後の予測	平成15年度から検討されている救命救急体制構築の推進に伴い、当事業のあり方についても変化が予想される。特に、今年度実施予定の「区内病院による小児医療体制の確保」及び「救急医療情報センター」については、平日準夜診療及びテレホンセンター業務に密接に関係することから検討・協議が必要である。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 初期急病患者がより身近なところで適切な医療受けられるよう救急医療体制を整備することは、区の重要な役割のひとつである。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由または具体的内容: 休日等夜間急病診療所及び輪番当番制の医療機関において、急病診療事業を(社)杉並区医師会に委託している。
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 「区内病院による小児医療体制の確保」及び「救急医療情報センター」が開始され、平日準夜診療及びテレホンセンター業務を移行できた場合は、現在行っている業務より高度な医療を受けたり、幅広い医療機関紹介や医療相談を区民に提供することができる。
	(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 保険診療の自己負担分を負担している。
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 医療の確保が特に難しい休日等については、引き続き区が実施することが必要と考えるが、平日夜間診療を区内病院に委託することが可能となれば、固定診療所の運営日数を削減することができる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現行事業のうち、平日夜間の小児診療については、区内病院に医師の確保を委託する方法により充実した医療を確保することが可能と考える。このため、区内病院等に医師の確保を委託し、初期救急及び二次救急に対応できる体制づくりを行い、現行の平日夜間の小児診療の業務を移行させることが可能かどうか検証を行う。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 平成16年度中に区内病院(1所)と平日夜間の小児科医の確保について委託契約を締結する予定であるが、一定期間の実績を検証し、現行業務との関係について検討が必要である。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 平成17年1月開設予定の救急医療情報センターの設置に伴い、当事業のテレホンセンターで行っている「医療機関の紹介」及び「電話による医療相談」の業務を移行する方向で、契約内容の変更などについて杉並区医師会との調整を行う。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歯科休日急病診療				整理番号	462	枝番号		
担当部課名		杉並保健所 健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	477	
係名 健康推進係					上位施策名			No		
予算事業名 休日等診療					コード	45950		地域医療体制の整備		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 52 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区歯科休日急病診療事業実施要綱					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 休日等に歯科診療を必要とする区民				(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 多くの医療機関が休診する休日や祝祭日、年末年始等における歯科の急病患者に対応するため、杉並区歯科医師会に事業を委託、実施している。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 休日、祝祭日や年末年始等における急病患者に対する歯科医療を確保する。					
	活動指標名(式) (1) 診療者数 (2) 診療日数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)一日平均診療者数 (2)					
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人	740	837	710	731	781		
	活動指標(2)		日	72	71	71	71	71		
	成果指標(1)		人	10	12	10	10	11		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,519	24,732	24,613	24,761	24,095	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 数値を捕らえるのが難しいため代替として、一日の診療者数とする。 診療見込者数 781人	
	(内)委託費		千円	24,404	24,563	24,466	24,686	23,955		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.32	0.25	0.24	0.21	0.13		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,878	2,249	2,159	1,889	1,169		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	27,397	26,981	26,772	26,650	25,264		
	単位あたりコスト ÷		円	37,023	32,235	37,707	36,457	32,348		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	27,397	26,981	26,772	26,650	25,264			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	103.0	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	100.6		
			・救急医療対策における東京都や医療機関等との役割分担の中で、急病患者に対する初期救急医療の確保を区が実施しているため、計画どおり実施した。							
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			かかりつけ医・歯科医普及事業と共同でポスター及び案内カード(ポスター添付用100枚組)を作成し、保育園、小中学校、医療機関など診療対象者が集まる施設等を中心に掲示した。また、保育園、幼稚園、小学校の新入園・入学児を対象に案内カードを配付し、事業の周知を図った。							

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年度、杉並保健所内に歯科休日急病診療所を移転開設以来診療所も区民に定着しており、利用者数は徐々に増えてきている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	要望 ・救急時の医療体制を充実してほしい。
	今後の予測	疾病の急発は予測不能であり、患者の急減は考えにくく、休日等における歯科医療機関の充実は、今後も必要である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由： 初期急病患者がより身近なところで適切な医療を受けられるよう救急医療体制を整備することは、区の重要な役割のひとつである。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由：
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容： 歯科休日急病診療所において、休日や年末年始等に歯科診療事業を(社)東京都杉並区歯科医師会に委託している。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容： 現行の固定歯科診療所1か所の診療体制を見直し、固定1か所、輪番歯科診療所1か所の計2ヶ所とすることで、区民の利便性を高める。
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 診療の自己負担分を負担している。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容： 固定歯科診療所を固定1か所、輪番1か所にするなど事業及び経費の見直しを行う。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 固定歯科診療所を固定1か所、輪番1か所にするなど、新たな方法を取り入れることも考慮し現行事業の検討を行う必要があると考える。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 今後の歯科医師会との協議によるが、現在のところ、現行事業を大きく変更する提案は双方から出されていないため。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		急病診療調剤事業				整理番号	463		枝番号			
担当部課名		杉並保健所 健康推進課		コード	150104		連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	423	
係名				健康推進係				上位施策名		No		
予算事業名				休日等診療		コード	45950		地域医療体制の整備		39	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		63年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区調剤待機事業実施要綱					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)					
	休日等に調剤を必要とする区民				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				一般の薬局が調剤しない時間帯に処方箋に基づく調剤事業を行う。 事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 急病診療事業及び歯科診療事業と連携し、急病患者に処方箋に基づき薬を調剤することにより休日等急病診療事業の円滑な運営を図る。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 利用者数				(1) (代) 1日利用者数								
(2) 実施日数				(2)								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)			2,113	4,011	4,211	4,341	4,380				
	活動指標(2)			120	365	366	366	365				
	成果指標(1)			18	11	12	12	12				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,122	12,476	12,476	12,821	12,528	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 数値を捕らえるのが難しいため代替として、一日の利用者数とする。 利用見込者数 4,380人			
	(内)委託費		千円	7,688	12,035	12,035	12,035	12,057				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.38	0.25	0.24	0.11	0.13				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,418	2,249	2,159	989			1,169	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 ++		千円	11,540	14,725	14,635	13,810	13,697				
	単位あたりコスト ÷		円	5,461	3,671	3,475	3,181	3,127				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引: 一般財源 -		千円	11,540	14,725	14,635	13,810	13,697					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	103.1	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	102.8	医師会、薬剤師会との連絡会を開催し、事業運営を円滑に行うため区民の要望・苦情などについて協議した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			かかりつけ医・歯科医普及事業と共同でポスター及び案内カード(ポスター添付用100枚組)を作成し、保育園、小中学校、医療機関など診療対象者が集まる施設等を中心に掲示した。また、保育園、幼稚園、小学校の新入園・入学児を対象に案内カードを配付し、事業の周知を図った。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平日準夜の小児科診療及び調剤業務を休止していたが、区民の強い要望により平成14年度から再開した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	14年度から平日準夜を再開したこともあり、利用者は年々増えており、丁寧な対応から利用者からの評価も大である。
	今後の予測	休日等における保険調剤事業は必要もあるが、区内調剤薬局の休日等の営業状況によっては検討を要する事業である。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 休日等診療事業実施に伴う処方箋の応需体制の確保は重要である。このことからこの事業の施策への貢献度は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由: 休日等において、処方箋に基づく調剤を必要としている区民に対応するため、区が処方箋応需体制の確保を行う必要はあるが、休日に営業している薬局を確保することも検討する必要がある。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 休日等夜間調剤薬局において、平日準夜及び土曜・休日等、休日急病診療事業実施に合わせて、処方箋による調剤事業を(社)杉並区薬剤師会に委託している。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容: 休日夜間等急病診療及び歯科休日急病診療に関する運営連絡会のなかで、医師会及び歯科医師会との連携を強化するとともに、かかりつけの薬局との連携についても協議していく。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: かかりつけの薬局との連携については課題はあるが、休日に営業している薬局を確保することも検討する方法の一つとして、補助方式を取り入れるなども可能と考える	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 休日に営業している薬局を確保することも検討する方法の一つとして、補助方式を取り入れるなどの検討が必要である。区内の処方箋対応の薬局について、休日等の営業状況を調査するとともに、休日診療事業全体関連を考慮して検討を行う。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 休日診療事業全体の見直しの中で検討することが望ましいと考えるが、現在、それぞれの委託先との協議には至っていないため また、かかりつけの薬局との連携が今後の課題の一つであるので、事業検討の際には、十分考慮が必要である。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 休日夜間等急病診療及び歯科休日急病診療に関する運営連絡会のなかで、医師会及び歯科医師会との連携を強化するとともに、かかりつけの薬局との連携についても協議していく。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歯科保健医療センター運営				整理番号	464	枝番号			
担当部課名		杉並保健所 健康推進課		コード	15014	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	479		
係名		健康推進係		上位施策名				No			
予算事業名		歯科保健医療センター運営		コード	46350	地域医療体制の整備				39	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区立歯科保健医療センター条例						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 在宅要介護状態や障害等などの理由でかかりつけ歯科医を持たない区民。同様に一般の歯科診療所での診療が困難な区民。				(2) 杉並区立歯科保健医療センター条例施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) かかりつけ歯科医に関する相談・歯科医療機関の紹介等及び障害や疾病により一般歯科診療所の受診が困難な区民を対象に専門的歯科治療等を提供する。また、医療関係団体との医療連携、地域の歯科医療機関相互の連携に取り組む。事業は(社)東京都杉並区歯科医師会に委託して実施している。				(3) 杉並区立歯科保健医療センター運営要綱						
	活動指標名(式) (1) 延べ診療件数(年間) (2) 相談総数(年間)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 障害や疾病により一般歯科診療所の受診が困難な区民に安心して歯科診療を受けられる場と身近にかかりつけ歯科医を持ち気軽に相談できる環境をつくる。また、高次歯科医療機関、専門歯科医療機関や医科診療機関との連携により、安全で適切な歯科治療の場を確保する。						
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) かかりつけ歯科医を持つ区民の割合 (2) (代)延べ診療件数の前年比											
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		20年度			
指標	活動指標(1)		件	2,944	2,918	2,900	3,279	3,400	4,000	82.0	
	活動指標(2)		件	99	48	80	105	100	100	105.0	
	成果指標(1)		%	59.9	59.8	60.0	61.0	63.0	70.0	87.1	
	成果指標(2)		%		99.1	105.0	113.1	105.0	105.0	107.7	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	82,718	72,773	73,236	70,645	77,541	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成13年度からの事業開始のため前年比を求める成果指標(2)については記入しない。		
	(内)委託費		千円	71,283	70,296	73,226	70,645	77,331			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.45	1.30	1.37	1.42	1.38			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,041	11,692	12,322	12,771			12,412
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	95,759	84,465	85,558	83,416	89,953			
	単位あたりコスト ÷		円	32,527	28,946	29,503	25,439	26,457			
	財源	受益者負担分		千円	18,277	16,621	16,201	19,043			20,000
		国・都等からの支出金		千円	13,117						
		特定財源計 +		千円	31,394	16,621	16,201	19,043			20,000
差引:一般財源 -		千円	64,365	67,844	69,357	64,373	69,953				
受益者負担比率 ÷		%	19.1	19.7	18.9	22.8	22.2				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	113.1	活動指標(2)の15年度達成率%	131.3	15年度予算執行率%	96.5	15年度も診療体制については抜本的な見直し検討はできなかった。しかし、休暇取得でスタッフ間のローテーションを工夫したこと、徹底した症例検討を通じ、全身麻酔適応症例の絞込みを行い、休暇代替や麻酔専門医の人件費の抑制がおこなえた。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		歯科保健医療センターの機能強化の一貫として保健福祉計画にもあげている摂食嚥下障害者への対応を歯科診療室外来で16年度から実施している。現在は、外来対応のみであるが将来的には在宅での対応を念頭に起き、都障害者口腔保健センターでの研修や独自の研修実施などで、このための人材育成にもあたっている。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度歯科保健医療センター開設時から現在まで区内の在宅要介護者や障害者の数に大きな変化はない。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区北西部に位置することから、障害を持つ通院患者にとって通院が困難な場合があり、利用者および区歯科医師会から「患者搬送体制の整備」や「施設移転」についての希望がある。
	今後の予測	かかりつけ歯科医の定着に従い、紹介希望は、数の増減を伴いながらも長期的には減っていくことが予想される。反面、医療機関のより細かな情報提供が望まれたり、相談内容の専門化、詳細化が予想される。この他、国公立病院や大学病院などの高次歯科医療機関から地域の歯科医療機関へのいわゆる逆紹介などの対応が望まれることが予想される。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: : 歯科医療の連携を図ることにより、相談内容にあわせた歯科医療機関の紹介や治療の安全性をより高くすることができる。 また、障害などの理由から歯科診療を断念していた患者に対して、安全に歯科治療を受ける機会を確保している。区内一般歯科診療所での対応が難しい患者を受け入れて、専門歯科医療機関の役割を果たし地域歯科医療の向上に貢献している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 歯科保健医療センター運営は社団法人東京都杉並区歯科医師会にすべて委託している。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 歯科診療室で治療終了した患者の経過観察を地域の歯科医療機関で積極的に実施するよう連携体制を強化することで、待機患者を減らし、診療件数を増やすことが可能である。また、老人保健施設などの施設と連携し、入所者への訪問歯科診療を実施することでかかりつけ歯科医の普及が図れる。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 健康保険法等法令に従い、診療費の自己負担を患者に求めている。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 障害者歯科診療の実施体制を抜本から見直し、人員配置を再考することでコストの削減が可能。また、中・長期的な研修計画の再検討により、地域の人材育成に係る経費の削減が可能。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 摂食嚥下機能訓練に係わる人材育成のための研修は平成17年度末で一応終了し、再検討を行う。あわせて、在宅でも18年度から摂食嚥下機能訓練を開始する。 区内一般歯科診療所との連携強化、障害者歯科診療の実施体制、地域の人材育成のための研修機能などについて再検討を行う。
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 歯科医師会を中心に、医師会、薬剤師会、障害者団体などの関係諸団体および企画部門、財政部門などの庁内関係部署との協議・検討を継続的に行っていく。
	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 17年度から、老人保健施設などの施設入所者への訪問歯科診療実施にむけて歯科医師会等との検討を開始している。しかし、連携体制の強化であり新たな経費の増は生じない。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		救命救急体制の構築				整理番号	465		枝番号	
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150101	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	
係名 健康推進係					上位施策名			No		
予算事業名 保健事業の推進					コード	45750		地域医療体制の整備		39
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 15年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1)					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 一般区民				(2)					
					(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 平成14年度杉並区地域保健推進協議会救急医療検討部会の報告書「杉並区における救命救急のあり方」の提言により、専門的かつ具体化に向けた救急医療システム専門家会議を立上げ、検討を開始した。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 杉並区独自で展開できる救命救急体制の構築に向け、医療関係の専門家等からの意見を参考に、区民が区内で高次元の医療サービスが受けられる様にしていく。					
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 会議開催回数				(1) (代)報告書作成部数						
(2)				(2)						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		回		4	4	0			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)				500	600				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			958	296	0	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 専門家会議は15年度をもって解散なので、16年度計画および、目標値は設定しない。	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人			0.30	0.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	2,698	2,698		0
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 ++		千円	0	0	3,656	2,994	0		
	単位あたりコスト ÷		円			914,000	748,500			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	3,656	2,994	0			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	30.9		
			平成15年度は計画していた専門家会議を予定どおり開催することができた。							
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年度の杉並区地域保健推進協議会救急医療検討部会からの報告書「杉並区における救命救急のあり方」の提言に伴い、杉並区独自の救命救急体制を構築すべく、専門家の意見を聴取するために「杉並区救急医療システム検討専門家会議」を設置し、杉並区独自で展開可能な事業の具体案を検討し、報告書の作成に至った。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	救急医療に対する区民の要望は強く、救命救急対応病院の設置や大学病院などの誘致を求められた。
	今後の予測	平成16年度からは「杉並区救急医療システム検討専門家会議」の報告書に基づいた杉並区独自の救命救急体制を事業化していく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由:救命救急医療を具体化していくうえで、救急医療システム検討専門家会議の報告書の作成は、施策に大きく貢献している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由:区独自の救命救急体制の構築は区の責務である。
	協働等は実現しているか 協働等の相手 協働等の主な形態	理由または具体的内容:
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:当年度は専門家会議による区独自の救命救急体制の検討段階であるので、当年度をもって終了となった。
	(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担は発生しない。
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:当年度は専門家会議による区独自の救命救急体制の検討段階であるので、当年度をもって終了となった。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1)改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 救急医療システム検討専門家会議の報告書「杉並独自の救命救急体制構築に向けて」でまとめた具体案を16年度に事業展開していく。		
17年度方針	(2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区内二次医療機関との連携、消防等関係機関との調整、区内部の組織との調整など。		
	(1)17年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由 報告書の具体案を事業として展開するにあたり、大きな3つの柱にまとめた。これらは3つの新規事業となるため、経費は大幅な増となる。		